

医療機器開発・製品化の今後の展望－日本の技術を、いのちのために。

○ 妙中義之（国立循環器病研究センター）

Yoshiyuki TAENAKA, NCVC

医療機器開発には、臨床現場や患者が求める明確なニーズ、将来の医療に貢献する重要なアイデア、医工・産学連携、複数技術の融合、製品化への連続的プロセス、規制対応、技術を持つ企業が医療機器分野に入るための世論作り、などが重要である。開発に参加した例としての先端技術を応用した人工心臓やその周辺機器、人工肺の製品化プロセスでの、問題点、外部企業や省庁との連携などについての経験に関する概説する。